

# Bayer Medical Dialogue

日時:2020年**12月18日(金)** 12:30~13:30

## COVID-19:肺炎及び合併症の画像診断



**演者** 芦澤 和人 先生

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 臨床腫瘍学 教授

【略歴】 1987年 長崎大学医学部卒業  
1993年 長崎大学大学院医学研究科(放射線医学専攻)修了  
1995年 長崎大学医学部附属病院放射線科 助手  
1996年 シカゴ大学放射線科カートロスマン放射線像研究所 留学  
2004年 長崎大学医学部・歯学部附属病院放射線科 講師  
2007年 長崎大学病院がん診療センター センター長  
2012年 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床腫瘍学 教授  
現在に至る

本年3月にWHOから新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のパンデミック宣言が出され既に9か月が過ぎましたが、未だに終息のめどは立っておらず、今後第3波・第4波の懸念が持たれています。これまでに、COVID-19による肺炎および罹患後の合併症に関しては多くの知見が世界中から報告されてきました。本講演では、肺炎および罹患後の合併症における画像診断の役割や適応、さらには特徴的な画像所見に関して最新の知見を含めて紹介したいと思います。

## COVID-19と血栓症



**演者** 山田 典一 先生

地方独立行政法人 桑名市総合医療センター  
副病院長 理事 循環器センター長  
三重大学 客員教授

【略歴】 1989年 三重大学医学部 卒業  
1993年 ベイラー医科大学 外科 留学  
2005年 三重大学大学院医学系研究科循環器内科学 講師  
2016年 三重大学大学院医学系研究科循環器内科学 准教授  
2017年 三重大学医学部附属病院 病院教授  
桑名市総合医療センター・桑名東医療センター 副病院長  
2018年 三重大学 客員教授、三重大学医学部 臨床教授  
桑名市総合医療センター 副病院長、循環器センター長  
現在に至る

COVID-19患者では血栓症が高頻度に合併していることが世界各国から報告されている。多くは肺血栓塞栓症をはじめとした静脈血栓塞栓症であるが、様々な動脈血栓も生じており、さらにCOVID-19重症例では細動脈レベルでの微小血栓形成が病態を悪化させている可能性が示唆されている。COVID-19に関連した血栓症に関する海外からの情報に加えて、最近の日本でのアンケート調査結果や現状から想定される適した対処法についてお話ししたい。

ご自宅や病院、診療所などから、インターネットを通じてライブに参加いただけるカンファレンスです。

### Q&Aについて

インターネットを通じて随時質問を受け付けます。  
お寄せいただいた質問は講演の最後にご回答をいただく予定です。

●WEBカンファレンスの参加方法は裏面をご参照下さい。

主催：バイエル薬品株式会社